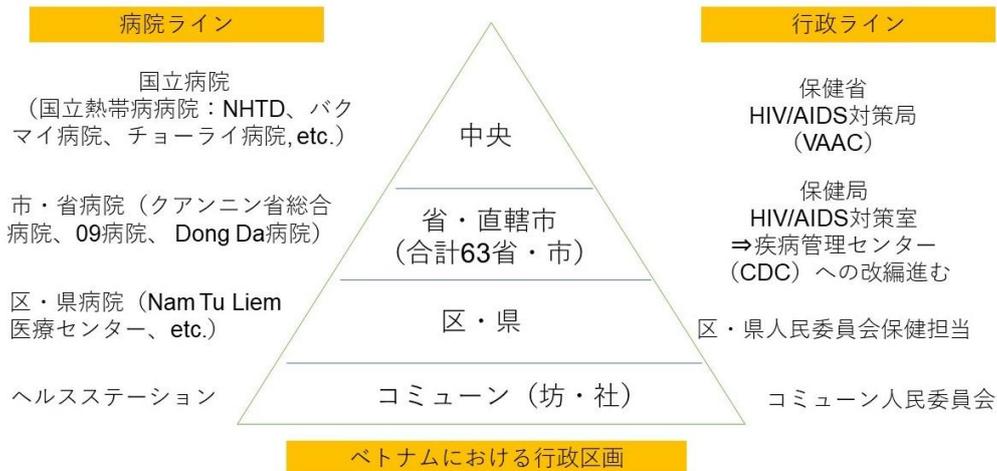


プロジェクト参加の地方各病院を訪問！
(2019年7月26日)

ベトナムでは、今後 HIV 治療が国の医療保険で賄われることになることで、地方病院での ART 治療が多くなること予想されます。そのため、今後は地方病院と中央レベルの病院の連携が大変重要になってきますし、それを支援するネットワーク形成はプロジェクト活動の大きな目標の一つです。今回はプロジェクトに参加する4つの地方病院を周り、今後の活動について議論しました。

HIV/AIDS対策の医療機関、行政組織



訪れた病院はハノイ市内にある Dong Da 病院、09 病院、Nam Tu Liem 医療センター、そしてクアンニン省にあるクアンニン省総合病院の4つです。ベトナムにおける病院システムはピラミッド型になっており、医療保険加入者はそれぞれの住所により指定された医療機関において治療を受けることで初めて保険が適用されます。どのレベルの病院が登録機関として指定されているかは個々人で違いますが、中央レベル病院から省・市病院へ、省・市病院から区・県の医療施設へと、保険医療を求めて患者が移動することが予想されます。



クアンニン省総合病院の皆さんと



Nam Tu Liem 医療センター医師との意見交換



JICA-SATREPS プロジェクト
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



プロジェクトのメインカウンターパートである国立熱帯病病院(NHTD)は中央レベルの病院であるのに対し、これら4病院はハノイ市・クアンニン省、或いは Nam Tu Liem 区といった地方行政レベルでの病院であり、今後医療保険システムに移行する HIV 治療において、より大きな役割を果たすことが見込まれます。



ハノイ市 Dong Da 病院の皆さんと



クアンニン省病院は高台にあり、病院からハロン湾の景色が見えてなかなか風光明媚♪

今回各病院を訪問しながら、プロジェクトで導入を予定している HIV/AIDS 治療に関する HIV 情報ネットワークのデモ版を共有、その使用方法や現場での課題について意見交換を行いました。また、2019 年 3 月から始まった医療保険適用後の、地方病院における治療の現状、患者の動きについても最新の状況を聴取しました。ドナープロジェクト支援の終了に向けた動き、患者の保険加入・利用率など、各病院においても過渡期ならではの課題が見え隠れします。

今後プロジェクトが活動の進捗に合わせ、ベトナムにおける医療保険による HIV 治療が本格化し、HIV/AIDS 患者が北部においてどの地域の、どのレベルの病院で ART 治療を受けるようになってくるかを我々も注意深くモニターしていきたいと思えます。そして、今回 4 病院に加え、更に 6 病院、計 10 の地方病院と協力して、より広い、効率的な ART 治療モニタリングを支援していきたいと思っております。